

愛臨技学術部研究班活動報告書

所属：一般検査研究班 提出日：令和 3 年 1 月 10 日 報告者：長嶋 和子

| | | | | |
|----------|--|-----------|-----------|-----------|
| 行事種別 | 一般検査研究班講演会 | 行事番号 | 200003746 | |
| 開催日 | 令和 2 年 12 月 12 日 (土) ~12 月 25 日 (金) | | | |
| 時間 | 開始 | 00 時 00 分 | 終了 | 23 時 59 分 |
| 場所 | Web 配信 (Web 録画) | | | |
| テーマ | 糖尿病性腎症及び糸球体病変における尿中ポドサイト出現の意義 | | | |
| 生涯教育履修点数 | 専門教科 20 点 (レポート提出した愛知県会員のみ)に寄与) | | | |
| 司会 | 藤田医科大学病院 長嶋 和子 | | | |
| 講師 | <p>講演 1：糖尿病の合併症と臨床検査 ～糖尿病性腎症を中心に～ アークレイマーケティング株式会社 学術推進チーム 多田 昌代</p> <p>講演 2：尿中ポドサイトとは？ ～出現の意義、鑑別ポイントを中心に～ 筑波大学附属病院 横山 千恵</p> | | | |
| 内容 | <p>講演 1 では透析導入の原因疾患で第 1 位を占める糖尿病性腎症について講演頂いた。従来から認識されている糖尿病の合併症に加え、第 6 の合併症として近年話題になっている歯周病についても相互に悪影響を及ぼしあっている状況や検査法などについて説明を頂いた。講演 2 では糸球体障害の新たなバイオマーカーとして期待の高まるポドサイト (糸球体上皮細胞) について、豊富な写真をもとに鑑別ポイントを中心に講演いただいた。「尿沈渣検査法 2010」にも写真掲載の無いポドサイトなだけに、非常に貴重な講演であった。</p> <p>想定人数を上回る参加申し込みがあり、会員の意識の高さを感じると共に今回の講演を通して有益な情報を広く提供できたと考える。講演内容に関しても「よくわかった」というアンケート結果が多く、初の Web 研修会であり参加者の様子が見えない事で不安であったが、ひとまずは成功であったと思われる。</p> <p>スライド作成や提出に関し講師には負担が大きかったと思われるが、閲覧後のレポートを確認すると Web 研修会の有益性に触れている意見が多かった。今後の勉強会についても Web 配信を併用しての開催を検討していきたい。</p> | | | |
| 参加者 | 総数：134 名 (会員 126 名) | | | |
| 共催、後援など | 特になし | | | |

愛臨技学術部研究班活動報告書

所属：一般検査研究班 提出日：令和 3 年 3 月 13 日 報告者：服部 聡

| | | | | |
|----------|---|-----------|-----------|-----------|
| 行事種別 | 一般検査研究班研究会 | 行事番号 | 200005603 | |
| 開催日 | 令和 3 年 2 月 13 日 (土) ~ 2 月 26 日 (金) | | | |
| 時間 | 開始 | 00 時 00 分 | 終了 | 23 時 59 分 |
| 場所 | オンデマンド配信 (Web 録画) | | | |
| テーマ | 2020 年度愛臨技精度管理報告、 標準化ガイドライン「尿定性検査の手順書」の紹介 | | | |
| 生涯教育履修点数 | 基礎教科 20 点 (レポート提出した愛知県会員のみに寄与) | | | |
| 司会 | 公立西知多総合病院 服部 聡 | | | |
| 講師 | <p>講演 1：愛臨技一般検査部門精度管理報告会</p> <p style="text-align: right;">公立西知多総合病院 服部 聡</p> <p style="text-align: right;">名古屋第二赤十字病院 野村勇介</p> <p style="text-align: right;">藤田医科大学病院 長嶋和子</p> <p style="text-align: right;">特定医療法人衆済会増子記念病院 平田弘美</p> <p>講演 2：愛知県臨床検査標準化ガイドライン「尿定性検査の手順書」の紹介</p> <p style="text-align: right;">医療法人青山病院 平田基裕</p> | | | |
| 内容 | <p>講演 1 では 2020 年度に実施された愛臨技精度管理調査の報告を講演いただいた。尿定性検査は各社の尿試験紙の半定量値の違い等の精度管理上の問題点、フォトサーベイは各設問について細胞の鑑別点などを詳細に解説していただいた。</p> <p>講演 2 では昨年度発刊された愛知県臨床検査標準化ガイドライン「尿定性検査の手順書」の紹介について講演いただいた。精度管理調査時に実施したアンケート結果とガイドラインについて順を追って詳細に解説していただいた。</p> <p>多数の参加申し込みがあり、Web 配信で配信期間が長いということも理由として考えられる。アンケート結果は講演内容に関して「わかりやすかった」「間違えた問題の解説が聞けて良かった」、動画配信については「空いた時間に見れるのがよい」「巻き戻して見れるのがよい」等好評であった。今後の勉強会についても Web 配信を併用しての開催を検討していきたい。しかし、Web 配信開催側として点数の付与に関してレポート等の提出をもって付与する性善説に基づいているが、参加者がきちんと閲覧しているかどうかを確認できる方法を確立することも必要ではないかと感じた。</p> | | | |
| 参加者 | 総数：108 名 | | | |
| 共催、後援など | 特になし | | | |